

平成29年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第7号(10月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（平成29年9月28日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○10月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名	9月の発生量 (現況)	10月の 増減傾向	増減傾向の根拠
カンショ	① ナカジロシタバ	やや多	→	幼虫数の例年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
	② イモキバガ	並	↘	幼虫数の例年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	並	→	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
	② メイチュウ類 (イネヨトウ)	少	→	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
	③ 野そ	並	↗	被害茎率の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。
かんきつ (温州みかん)	① かいよう病	並	→	発病果率の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
	② 黒点病	並	↘	発病果率の平年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。
	③ そうか病	やや多	→	発生果率の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
	④ アブラムシ類	並	↘	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。
	⑤ ミカンハモグリガ	並	↘	寄生葉率の平年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。
	⑥ ハダニ類	並	↘	寄生葉率の平年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。
かんきつ (タンカン)	① かいよう病	並	↗	発病果率の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。
	② 黒点病	並	→	発病果率の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
	③ そうか病	並	↗	発病果率の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。
	④ アブラムシ類	やや多	↘	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。
	⑤ ミカンハモグリガ	並	↘	寄生葉率の平年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。
	⑥ ハダニ類	やや多	→	寄生葉率の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	→	成虫・幼虫数の平年の発生推移、新梢の発生が続いていることから、9月と同程度の発生量と考えられる。
	② マンゴーハフクレタマバエ	やや多	↗	発生株率の平年の発生推移、新梢の発生が続いていること、今後1ヶ月の気温が高い見通しから、9月より発生量は多くなると考えられる。
	③ ハダニ類	並	↗	雌成虫数の平年の発生推移、今後1ヶ月の気温が高い見通しから、9月と同程度の発生量と考えられる。

○10月の発生予報つづき（沖縄群島）

作物	病害虫名	9月の発生量 (現況)	10月の 増減傾向	増減傾向の根拠
ヘチマ	① ベと病	(発生なし)並	→	今後1カ月の降水量がほぼ平年並の見通しから、9月と同程度の発生と考えられる。
	② ミナミキイロアザミウマ	並	→	今後1カ月の気温が高い見通しから、9月と同程度の発生と考えられる。
	③ ヒメクロウリハムシ	やや少	→	今後1カ月の気温が高い見通しから、9月と同程度の発生と考えられる。
	④ ハモグリバエ類	(発生なし)やや少	→	今後1カ月の気温が高い見通しから、9月と同程度の発生と考えられる。
オクラ	① うどんこ病	(発生なし)やや少	→	今後1カ月の降水量がほぼ平年並の見通しから、9月と同程度の発生量と考えられる。
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	多	→	今後1カ月の気温が高い見通しから、9月と同程度の発生量と考えられる。
	③ アブラムシ類	並	→	今後1カ月の気温が高い見通しから、9月と同程度の発生量と考えられる。
小ギク (年末出荷用)	① 黒斑病・褐斑病	並	↘	発病葉率の平年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。
	② 白さび病	(発生なし)並	→	発病葉率の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
	③ アザミウマ類	やや多	↗	成虫数の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。
	④ アブラムシ類	多	↗	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。
	⑤ カスミカメ類	(発生なし)並	→	寄生虫数の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
	⑥ ハモグリバエ類	(発生なし)並	→	寄生葉率の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
	⑦ チョウ目幼虫	多	→	幼虫数の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※判定不可は、過去3年分のデータがないため、比較判定できない。

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成29年度 宮古群島 病害虫発生予報 第7号(10月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（平成29年9月28日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○9月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	9月の発生量 (現況)	10月の 増減傾向	増減傾向の根拠
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	多	→	芯枯茎率及びトラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
	② メイチュウ類 (イネヨトウ)	並	→	芯枯茎率及びトラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
	③ 野そ	並	→	被害茎率の平年の発生推移から、9月と同程度の発生量と考えられる。
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	↗	成虫・幼虫及びトラップの平年の発生推移、新梢の発生が続いていること、今後1ヶ月の気温が高い見通しから、9月より発生量は増加すると考えられる。
	② マンゴーハフクレタマバエ	(発生なし)並	↗	成虫・幼虫及びトラップの平年の発生推移、新梢の発生が続いていること、今後1ヶ月の気温が高い見通しから、9月より発生量は増加すると考えられる。
	③ ハダニ類	(発生なし)並	↗	雌成虫数の平年の発生推移、今後1ヶ月の気温が高い見通しから、9月より発生量は増加すると考えられる。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※判定不可は、過去3年分のデータがないため、比較判定できない。

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成29年度 八重山群島 病害虫発生予報 第7号(10月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（平成29年9月28日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○9月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	9月の発生量 (現況)	10月の 増減傾向	増減傾向の根拠
水稲	① スクミリングガイ	やや少	↘	貝数の平年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。
	② 葉いもち病	並	↗	発病株率の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。
	③ 斑点米カメムシ類	並	↗	虫数の平年の発生推移、今後1ヶ月の気温が高い見通しから、9月より発生量は増加すると考えられる。
	④ コブノメイガ	やや少	↘	被害株率の平年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	やや少	↗	芯枯莖率及びトラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。
	② メイチュウ類 (イネヨトウ)	やや多	↗	芯枯莖率及びトラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。
	③ 野そ	やや少	↗	被害莖率の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	やや少	↗	成虫・幼虫数の平年の発生推移、新梢の発生が続いていること、今後1ヶ月の気温が高い見通しから、9月より発生量は増加すると考えられる。
	② ハダニ類	やや少	↗	雌成虫数の平年の発生推移、今後1ヶ月の気温が高い見通しから、9月より発生量は増加すると考えられる。
オクラ	① うどんこ病	並	↗	発病葉率の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。
	② フタテンミドリヒメコバイ	多	↘	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。
	③ アブラムシ類	やや少	↗	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、9月より発生量は増加すると考えられる。
	④ チョウ目幼虫	並	↘	幼虫数の平年の発生推移から、9月より発生量は減少すると考えられる。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※判定不可は、過去3年分のデータがないため、比較判定できない。

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



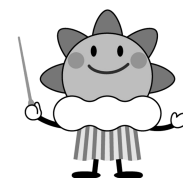
沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	黒穂病	新植夏植ほ場で黒穂病の発生が確認された。 発病株は早期に抜き取り処分する。また発生ほ場から採苗を行わない。

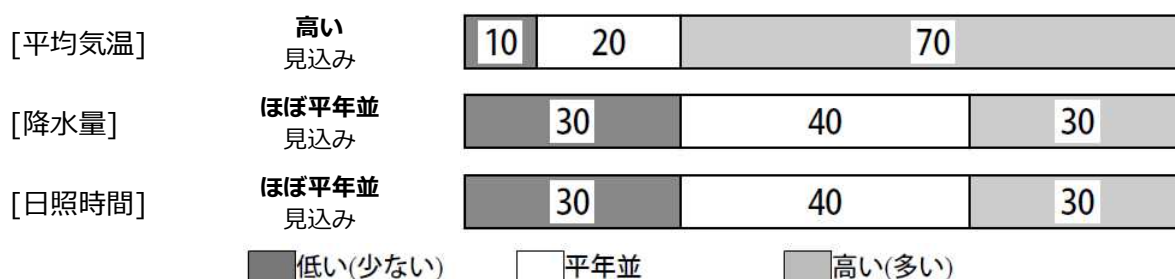
向こう1か月の天候の見通し
 沖縄地方（9月30日～10月29日）

- 気象予報のポイント
- 向こう1か月の天候は、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の平均気温は高いでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

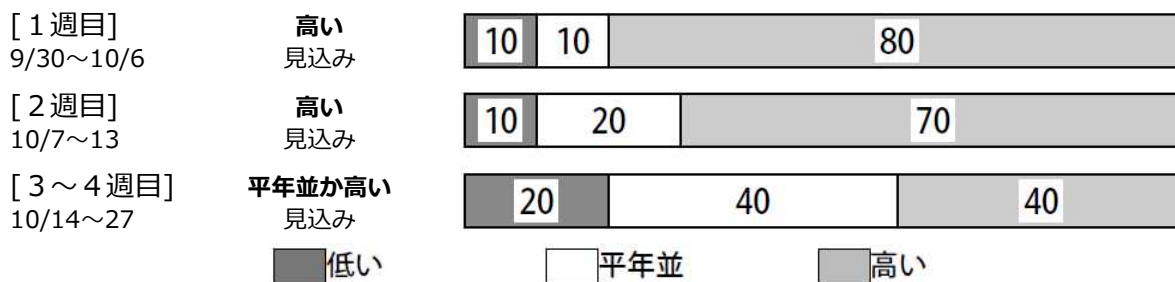


数値は予想される出現確率(%)です。

<平年並の範囲>

	平均気温(1か月)	降水量(1か月)	日照時間(1か月)
沖縄地方	平年差: -0.3~+0.5℃	平年比: 60~100%	平年比: 96~107%
那覇	25.0~25.9℃	69.3~178.8mm	150.5~169.7時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率(%)です。

<平年並の範囲>

	平均気温(1週間)	平均気温(2週間)	平均気温(3~4週間)
沖縄地方	平年差: -0.2~+0.3℃	平年差: -0.3~+0.4℃	平年差: -0.4~+0.4℃
那覇	26.1~26.7℃	25.4~26.2℃	24.2~25.3℃

- ※ 沖縄地方の平年差(比)は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点平均値です。
- ※ 平年並の範囲は、過去30年間(1981~2010年)の値から統計的に求めています。